

平成 16 年度新潟大学入試問題 (数学) 理, 医, 歯, 工学部

4  $\alpha, \beta$  は異なる複素数とし、複素数平面上で  $\alpha, \beta$  を表す点をそれぞれ A, B とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 複素数  $z$  が  $|z| = |z - 1|$  を満たすとき、 $z + \bar{z} = 1$  であることを示せ。  
 (2) 複素数  $z$  が  $|z - \alpha| = |z - \beta|$  を満たすとき  $\left| \frac{z - \alpha}{\beta - \alpha} \right| = \left| \frac{z - \alpha}{\beta - \alpha} - 1 \right|$  であることを示せ。  
 (3) 線分 AB の垂直二等分線と A を中心とする半径  $2|\beta - \alpha|$  の円との共有点が表す複素数を  $\alpha, \beta$  で表せ。

—解答例—

(1)  $|z|^2 = |z - 1|^2$  ゆえ  $z\bar{z} = (z - 1)(\bar{z} - 1) = z\bar{z} - z - \bar{z} + 1$  である。整理して、 $z + \bar{z} = 1$

(2)  $\left| \frac{z - \alpha}{\beta - \alpha} \right| = \left| \frac{z - \alpha}{\beta - \alpha} - 1 \right| \iff \left| \frac{z - \alpha}{\beta - \alpha} \right| = \left| \frac{z - \alpha - (\beta - \alpha)}{\beta - \alpha} \right| \iff |z - \alpha| = |z - \beta|$

(3) 共有点を  $z$  とすると、 $|z - \alpha| = |z - \beta|$ ,  $|z - \alpha| = 2|\beta - \alpha|$  を満たす。

第 1 式と (1), (2) から  $\frac{z - \alpha}{\beta - \alpha} + \frac{\bar{z} - \bar{\alpha}}{\bar{\beta} - \bar{\alpha}} = 1$  である。

第 2 式から  $\frac{z - \alpha}{\beta - \alpha} \times \frac{\bar{z} - \bar{\alpha}}{\bar{\beta} - \bar{\alpha}} = 4$  である。

よって、 $\frac{z - \alpha}{\beta - \alpha} \left( \frac{\bar{z} - \bar{\alpha}}{\bar{\beta} - \bar{\alpha}} \right)$  は  $t^2 - t + 4 = 0$  の解である。解は  $t = 1 \pm \sqrt{1 - 4} = 1 \pm \sqrt{3}i$  ゆえ、

$z = \alpha + (1 \pm \sqrt{3}i)(\beta - \alpha) = \mp\sqrt{3}i\alpha + (1 \pm \sqrt{3}i)\beta$  (複号同順)